

# 新型コロナウイルス感染症について

R2. 11. 26 大滝小学校保健室

滋賀県 発熱など風邪のような症状があり 医療機関を受診する際のお願い

インフル 流行期 感染拡大防止

## 受診前 まず電話で ご相談を！

風邪？ インフル？ 新型コロナ？

※FAX・E-mailについては、裏面をご覧ください。

直接医療機関に行くと、感染を拡大させる恐れがあります

空気が乾燥し、寒くなるこれらの季節は、風邪やインフルエンザが流行しやすくなります。新型コロナウイルス感染症の初期症状は、風邪やインフルエンザなど、他の疾病と見分けにくいことから、受診前には、必ず電話で相談してください。

詳細は裏面をご覧ください》

電話相談 → かかりつけ医など 身近な医療機関 → 受診や必要な検査

受診や相談先 → 受診・相談センター → 案内

※ 受診可能な場合、診療できる医療機関を案内

※ 診療・検査 医療機関

※ 受診や 必要な検査

※ 受診・相談先

※ 受診・相談センター

※ 案内

※ 滋賀県公式ウェブサイト ※ 滋賀県公式Twitter ※ 滋賀県公式フェイスブック ※ 滋賀県公式ホームページ ※ COVID-19 対策サイト

※ 滋賀県の新型コロナウイルス感染症に関する情報は、このQRコードからご覧ください。

滋賀県は11月17日に**新型コロナウイルスの感染状況を示す独自の判断を4段階中から2番目の「注意ステージ」に引き上げました。**今後さらに感染拡大が予想されますので、油断せずに感染症対策を継続してください。

《11月1日から変わりました！》

**発熱など風邪症状がある場合、まずは身近な医療機関（かかりつけ医）に電話で相談をしてください。**

新型コロナウイルス感染症の初期症状は、風邪などの他の疾病と見分けにくいことから、発熱などの症状がある場合は、かかりつけ医など身近な医療機関に相談し、必要な診療・検査を受ける体制に変わりました。

新型コロナウイルス感染症の初期症状は、風邪やインフルエンザなど他の疾病と見分けが付きにくいことから、**新型コロナウイルスの感染拡大を防ぐため、受診にあたっては以下1～3の点にご注意ください。**

1. **かかりつけ医など身近な医療機関に電話等で相談する。**
2. **診療所等が指定する方法で受診する。**
3. **受診前には手洗いとマスクの着用をする。**



## 家族に新型コロナウイルス感染が疑われる場合の家庭での注意点

他の家族と部屋を可能なかぎり分ける



できるだけ限られた人がお世話をする



できるだけ全員がマスクをつける



こまめに石けんで手洗いをする



部屋の換気をする



共用する部分（取っ手、ドアノブ等）を消毒する



体液で汚れたリネン、衣服を洗濯する



ゴミ（鼻をかんだティッシュなど）は密閉して捨てる



参考：日本環境感染学会「新型コロナウイルスの感染が疑われる人がいる場合の家庭内での注意事項」、厚生労働省「新型コロナウイルスに関するQ&A（一般の方向け）」

## ※感染拡大防止のために・・・(再確認&お願い)

- ・ 毎日、朝の体温と健康状態を「健康観察表」に記録し、提出してください。  
(※お忙しい朝の時間帯にご協力いただき、ありがとうございます\*)
- ・ 発熱、風邪症状(特に「せき症状」)がある場合は自宅で休養してください。
- ・ 清潔で顔のサイズに応じた密着度の高いマスクを着用しましょう！  
(密着度の低いマスクでは、マスクの隙間からマイクロ飛沫が広がります。)
- ・ 手洗いや手指消毒は、手のひらだけでなく、手の甲や指先、指の間までしっかりとおこないましょう！
- ・ 定期的につめの長さをチェックし、短くしておきましょう！  
(長いと汚れがたまり、食べ物と一緒に口の中に入ります。)
- ・ 金属(銅を除く)や平滑なプラスチック、ガラスなどの表面に付着したウイルスは、最大4日間程度感染力を保っているそうです。  
せっかく手洗いや手指消毒をしても、リモコンやスマホ、タブレットなどが感染源になることがあるので注意しましょう！(アルコール除菌シートで拭くのがオススメ★)



## ※手指消毒のポイント

公共施設の入り口に設置されている手指消毒液ですが、正しく使用し、十分な消毒効果が得られる使い方ができているでしょうか。意外と多いのが、次のような人です。みなさんにも、心当たりはありませんか。

- ・ 公共施設に入る時は消毒をするけれど、出る時は消毒をしないまま帰る。
- ・ 指先や手のひらにしか消毒液をすり込んでいない。

★消毒効果を十分得るためには、“手のひらにくぼみを作り、そこに消毒液を溜める”→“手のひら・指先・手の甲・指の間…と手全体に消毒液をすりこむ”ことが大切です。入る時だけでなく、出る時も忘れずに手指消毒をしましょう！



換気・通風のポイントは



新型コロナウイルス感染症で注目されている「マイクロ飛沫」は、とても小さくて軽い飛沫であるため、すぐに落下せず、しばらく空中を漂っています。そのため、換気的重要性についてあちこちで注意喚起がなされています。

学校でも、室温や子どもの体感温度に配慮して換気を徹底していきますので、羽織れる上着の持参など「寒さ対策」をお願いします。